

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣 殿

## 地域型住宅グリーン化事業 適用申請書

### 【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。  
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

吉野STYLE

グループの名称

ひとときネット プラス

直近採択グループ番号

06-0354-0571

(グループ代表者)

代表者名	阪口 勝行	代表者印
代表者所属先	阪口製材所	
代表者所在地	奈良県吉野郡吉野町丹治113	
代表者電話番号	0746-32-2310	

(グループ事務局)

事務局事業者名	ナカオ建築設計舎	
事務局担当者名	中尾 敏也	印
事務局郵便番号	663-8033	
事務局所在地	兵庫県西宮市高木東町15-14-403	
事務局電話番号	090-2399-3409	
事務局FAX	072-261-1665	
事務局担当者E-mail	toshiya.nakao@gmail.com	

1. 地域型住宅の名称(必須)	吉野STYLE
2. グループの名称(必須)	ひとときネット プラス
3. 直近採択グループ番号(必須)	06-0354-0571
4. 地域型住宅供給対象地域(必須)	奈良・大阪・京都・和歌山・兵庫・広島・滋賀
5. 結成年(必須)	2008 年
6. グループ代表者名(必須)	阪口 勝行
7. グループ代表者の所属先(必須)	阪口製材所
8. グループ代表者所在地(必須)	奈良県吉野郡吉野町丹治113
9. グループ代表者電話番号(必須)	0746-32-2310
10. グループ事務局事業者名(必須)	ナカオ建築設計舎
11. グループ事務局担当者名(必須)	中尾 敏也
12. グループ事務局郵便番号(必須)	663-8033
13. グループ事務局所在地(必須)	兵庫県西宮市高木東町15-14-403
14. グループ事務局電話番号(必須)	090-2399-3409
15. グループ事務局FAX番号(必須)	072-261-1665
16. グループ事務局担当者E-mail(必須)	toshiya.nakao@gmail.com

(構成員数)		(構成員を含まない理由)
I. 原木供給	2	
II. 製材・集成材製造・合板製造	1	
III. 建材流通(木材を扱わない事業者を除く)	2	
IV. プレカット	4	
V. 設計	19	
VI. 施工	18	
VII. 木材を扱わない流通	0	
VIII. I～VII以外の業種	0	

A. 使用する地域材に関する事項 (必須)	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称		国内・国外	
			番号記入欄			
<input checked="" type="checkbox"/> 合法木材証明制度を利用する <input checked="" type="checkbox"/> 合法木材証明制度を利用する <input type="checkbox"/> PEFC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> PEFC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> SGEC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> FSC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> FSC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> FIPIC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> クリーンウッド法に基づく証明 <input type="checkbox"/> クリーンウッド法に基づく証明			※以下該当の1、2、3の番号を番号記入欄に記入してください。 1.都道府県の産地認証制度等によるもの 2.民間の第三者機関による認証制度(FSC、PEFC、SGEC等) 3.林野庁作成の「木材・木村製品の合法性、持続可能性のためのガイドライン(平成16年2月)」に基づき合法性が証明されるもの 4.クリーンウッドに基づき合法であることが確認された木材・木村製品(合法伐採木材等証明)			
		国産材	3	国内		
		外材	3	国外		
		国産材	2	国内		
		外材	2	国外		
		国産材	2	国内		
		国産材	2	国内		
		外材	2	国外		
		国産材	2	国内		
		国産材	4	国内		
		外材	4	国外		
	吉野材	奈良県	奈良県産材証明制度	1	国内	
	吉野材	奈良県	奈良県地域認証材制度	1	国内	

B. 平成30年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		2	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	2	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		1	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
	長寿命型	長期優良住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		5	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	5	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		3	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	3	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
		認定低炭素住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		3	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	3	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		1	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
性能向上計画認定住宅		経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
性能向上計画認定住宅		未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限125万円)		0	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸				
			上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸				
		その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限125万円)		0	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸				
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸				
ゼロ・エネルギー住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限140万円)		0	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸				
			上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸				
		その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限140万円)		0	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸				
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸				
C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数		今年度要望する棟数及び面積		0	棟			
			その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積		0	棟			
					0	m <sup>2</sup>			
					0	m <sup>2</sup>			
補助事業への参加を希望する工務店全社に最低1戸を配分。それ以降は、届け出順とする。									
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須)									
E. 平成29年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)								
	採択戸数	5	戸	交付申請戸数	4	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	4	戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)								
	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)								
	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)									
採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸	
優良建築物型									
採択棟数	0	棟	交付申請戸数	0	棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	0	戸	
採択床面積	0	m <sup>2</sup>	交付申請床面積	0	m <sup>2</sup>	完了実績(竣工予定含む)床面積	0	m <sup>2</sup>	





















1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 吉野STYLE	(地域型住宅供給対象地域) 奈良・大阪・京都・和歌山・兵庫・広島・滋賀
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) ひとときネット プラス	(結成年) 2008 年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	06-0354-0571	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取り組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。  
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定

【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	・吉野の美しさを実感しながら日々暮らしを送れるような住まいを提案する。 建設場所は奈良に限定せず、都市部も含めて考えます。 ・閉めれば断熱性能が高く冷暖房効率が良く、窓を開ければ風が通るような家で、四季を通して快適に暮らせる住まいを提案します。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	・構法は木造在来軸組法とする。 ・建物のどこかで、仕口・継ぎ手など、手加工の技術を活用する。	○
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	・仕上げに無垢材が見え、木の肌合いや香りを感じることが出来ること。	◎
④①～③の背景	・木の肌合いや、香りを大切に天然乾燥材にこだわる吉野の阪口製材所と、その思いに共感する設計者、施工者など、川上から川下までのメンバーの連携による家づくりを行っています。	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	・可能な限り、下地材、仕上げ材も吉野材を使用する。	○

イ. 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備

【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: ・納まりや材料のサイズ等、グループ内の情報交換を整理する。 ・先導している事務所の材料寸法や納まりの情報をメールなどで公開する。	○
①-2 使用建材の統一	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: ・土台には耐久性の高い材(桧等)を使用する。	◎
①-3 標準仕様の設定	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: ・標準仕様書作成に向けて、定期的にグループでの話し合いの場を設ける。	○
②-1 建材・資材調達のコスト削減	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: ・グループ構成員である製材業者から資材を購入することで、流通経路の合理化を図り、資材のコストダウンを図る。	◎
②-2 調達事務の合理化	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: ・グループ構成員である製材業者から資材を購入することで、流通経路の合理化を図り、資材のコストダウンを図る。	◎
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: ・生産の合理化に向けて、定期的にグループでの話し合いの場を設ける。	○
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: ・メールやLINE等を活用し、各構成員が行っている現場の情報を共有するよう促す。	○
b		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: ・施工基準について、定期的にグループでの話し合いの場を設ける。	○
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: ・瑕疵保証検査の前に、設計者と施工業者による現場検査を実施する。	◎
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: ・正確な実行予算が作成できるよう、定期的にグループでの話し合いの場を設ける。	○
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: ・山の見学会や、住まいの相談会、建物見学会を実施し、山から完成までの透明性を確保する。	○
c		
① 週休2日制の導入の取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 週休2日が確保されるよう、工程管理を行う。	○
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: ・やる気のある優秀な技能者を評価するために、技能者の保有資格や就業履歴等の情報を管理する。	○
③ 社会保険への加入	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: ・病気やケガ、事故、失業、老後の生活などのリスクに備えて、社会保険へ加入する。	○
④ 安全及び健康の確保のための取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: ・現場を担当する社員や新入社員に対して安全衛生教育を行う。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	・お互いの情報の交換をメール、Skype、LINE等のツールを活用して活発化させる。	○

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 吉野STYLE	(地域型住宅供給対象地域) 奈良・大阪・京都・和歌山・兵庫・広島・滋賀
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) ひとときネット プラス	(結成年) 2008 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0354-0571	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。  
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成30年度対応方針】			◎、○ 記入欄
a	① 住宅蓄積履歴情報のメンテ整備基準	①-1 内容・蓄積の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・設計図書を、設計事務所・お客様・工務店の3社で一定期間保管する。	◎
		①-2 情報サービス機関の活用 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
		①-3 履歴情報蓄積の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・各施工業者が記録を残し、グループ事務局からの要望に応じて資料を提出する。	○
	② メンテナンス基準	②-1 点検の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・竣工1年後に建物の点検を行い、必要であれば補修を行う。	○
		②-2 補修の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・竣工1年後に建物の点検を行い、必要であれば補修を行う。	○
		②-3 点検補修実施の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・各施工業者が点検補修の記録を残す。	○
	③ 住まいの管理	③-1 住まい管理勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・OB会を結成し、感謝祭やイベントの案内を送ることで、情報を途切れさせないように努める。 ・吉野サロン、堺サロンで、定期的にセミナーを実施する。	○
		③-2 DIY体験会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・定期的に、ペンキ塗りや木工などのDIY体験会を実施する。	○
		③-3 その他の相談会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・希望があれば適宜、相談会を実施する。	○
	④ 維持管理委員会等の設置 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・竣工1年後に建物の点検を行い、その不具合は、構成員の勉強会で発表する。	○	
⑤ その他の維持管理の手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・維持管理の手法について、定期的にグループでの話し合いの場を設ける。	○		
b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・工事を引き継ぎやすいように、日頃から現場などの情報を共有しておくこと。 ・良い専門業者の情報を共有しておく。	○	
	② 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・定期的にグループでの話し合いの場を設ける。	○	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。			

エ. グループの技術力の向上

【平成30年度対応方針】			◎、○ 記入欄
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・先導している事務所の材料寸法や納まりの情報をメールなどで公開する。	○	
	②-1 品質管理のための共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・メール、Facebook、LINE等、常日頃から現場情報をオープンにして共有します。	○	
	②-2 上記共通ルールが守られていることの確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・各施工業者が写真や記録を残し、グループ事務局からの要望に応じて資料を提出する。	○	
	③-1 需給計画の策定 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・現場見学会、完成見学会、イベントなど、共同で開催することで継続的に情報を発信する。 自分の現場でなくても、お客様案内を認めている。	○	
	③-2 技術力向上のための中長期的な計画 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・省エネ義務化に備えてグループでの新築着工数の増加を推進する。	○	
	④ ③に基づく業種ごとの合理化の取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・同業者間で合理化について話し合いの場を設ける。	○	
b	①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数 昨年度までの終了者数 13 今年度の参加目標人数 5	○	
	①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数 昨年度までの終了者数 0 今年度の参加目標人数 5	○	
	② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・工務店はすべて、加えて、設計事務所も出来る限り受講する。	○	
c	① 新たな技術等の導入 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・吉野杉の柱目を幅広く接いだ施工効率のよいフローリングの開発に取り組んでいる。	○	
	② 新たな技術等の開発 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・吉野杉の柱目を幅広く接いだ施工効率のよいフローリングの開発に取り組んでいる。	○	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。			

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 吉野STYLE	(地域型住宅供給対象地域) 奈良・大阪・京都・和歌山・兵庫・広島・滋賀													
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) ひとときネット プラス	(結成年) 2008 年													
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0354-0571														
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。															
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与															
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄													
a															
①	地域材利用に関する 共通 ルール(必須)	・柱、梁などはもちろん、下地材、仕上げ材も可能な限り吉野材を使用する。 ・歩留まりを良くして、出来るだけ山にお金が戻すために、下地材、羽柄材も吉野材を使用することを原則とする。 ・下地材などで1等材を活用する。	○												
②	地域材利用の1棟当 たりの割合(必須)	<input type="checkbox"/> 50%未満 <input type="checkbox"/> 50%以上 <input checked="" type="checkbox"/> 80%以上	○												
③	標準的な地域材の使 用部位(必須)	<table border="1"> <tr> <td>主要構造材</td> <td>土台: <input type="checkbox"/> 使用していない      <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td></td> <td>柱: <input type="checkbox"/> 使用していない      <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td></td> <td>梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない      <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>羽柄材</td> <td>間柱、根太、垂木等: <input type="checkbox"/> 使用していない      <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>造作材</td> <td>柵材、廻縁等: <input type="checkbox"/> 使用していない      <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>板材</td> <td>壁板、床板等: <input type="checkbox"/> 使用していない      <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> </table>	主要構造材	土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している		柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している		梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している	羽柄材	間柱、根太、垂木等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している	造作材	柵材、廻縁等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している	板材	壁板、床板等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している	○
主要構造材	土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している														
	柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している														
	梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している														
羽柄材	間柱、根太、垂木等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している														
造作材	柵材、廻縁等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している														
板材	壁板、床板等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している														
④	地域材の流れ(フロー図) などグループの取組に關 する補足説明	・「ひとときネット プラス」では「地域材(合法木材)認証木材」を、プレカット、建材流通、建築士は経由しないで、 直接お客様に届けます。													
b															
①-1	地域材在庫把握の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・地域材の供給業者から定期的に情報をアナウンスする。	○												
①-2	地域材価格の共有の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・地域材の供給業者から定期的に情報をアナウンスする。	○												
②	グループ全体における地 域材の需給予測	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 主要構造を吉野材に限定することで、設計段階から材の確保に努める。	○												
c															
①-1	畳の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数(1畳換算)      6枚 / 棟	○												
①-2	和瓦の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:													
①-3	襖の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:													
①-4	障子の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数(3×6換算)      6枚 / 棟	○												
②-1	その他地域の伝統的な素 材の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・漆喰や珪藻土といった左官壁を積極的に採用する。	○												
②-2	その他地域の伝統的な意 匠の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・木部の現しや木製格子など、伝統的な意匠を積極的に採用する。	○												
d															
①	地域の伝統的なデザ インを継承する取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 木製建具や木製格子など、伝統的なデザインを継承する。	○												
②	地域の住まい方の継承に つながる取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 通風や採光に配慮した間取りを提案する。	○												
③	地域の街並み形成へ寄 与する取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 街並みに調和した外観や外構を提案する。	○												
④	和の住まいの要素を取 入れた取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 引き戸を多用し、通風に配慮した間取りを提案する。	○												
その他	※上記項目以外でグループ独自の ルール・目標があれば記入 してください。	・吉野材の美しさを実感しながら日々暮らしを送れるような住まいを提案する。 ・建設場所は奈良に限定せず、都市部も含めて考えます。 ・閉めれば断熱性能が高く冷暖房効率が良く、窓を開ければ風が通るような家で、 ・四季を通して快適に暮らせる住まいを提案します。	○												
カ. その他															
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄													
東日本大震災の復興に資する取組															
平成28年熊本地震の復興に資する取組															

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域 (必須)	<small>(地域型住宅の名称)</small> 吉野STYLE	<small>(地域型住宅供給対象地域)</small> 奈良・大阪・京都・和歌山・兵庫・広島・滋賀
2. グループの名称・結成年月 (必須)	<small>(グループの名称)</small> ひとときネット プラス	<small>(結成年)</small> 2008 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号 (必須)	06-0354-0571	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み		
キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴 ※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。 ※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・木や自然素材持つ調湿性や温もりを活かした家づくりを提案します。</li> <li>・認定低炭素を受ける住宅に限らず、吉野杉を構造材や内装材、外部仕上げにふんだんに使用しているため、一戸当たりの炭素貯蔵量が多くなるという特徴があります。</li> <li>・通風や採光に配慮した間取りや、Low-Eガラスや高性能の断熱材を用いることで、なるべくエアコンに頼らない暮らしを提案します。</li> <li>・モデルハウスの「吉野サロン」には、太陽光パネルやエネファームといったエネルギー消費量を抑える設備を導入しているので、お客様にHEMSを確認しながら低炭素住宅のエコロジーさやエコノミーさを実感していただいています。</li> </ul>		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。